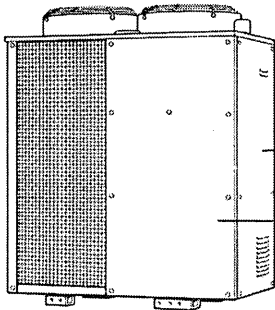
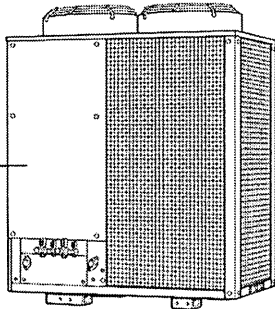
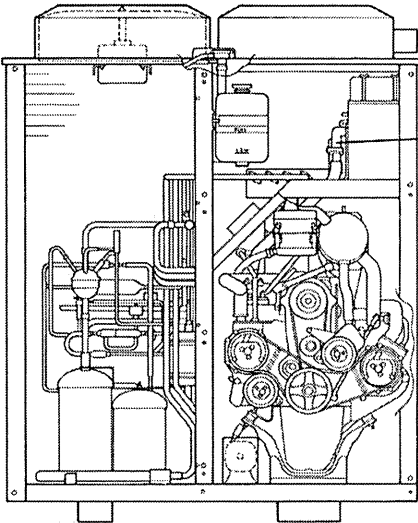
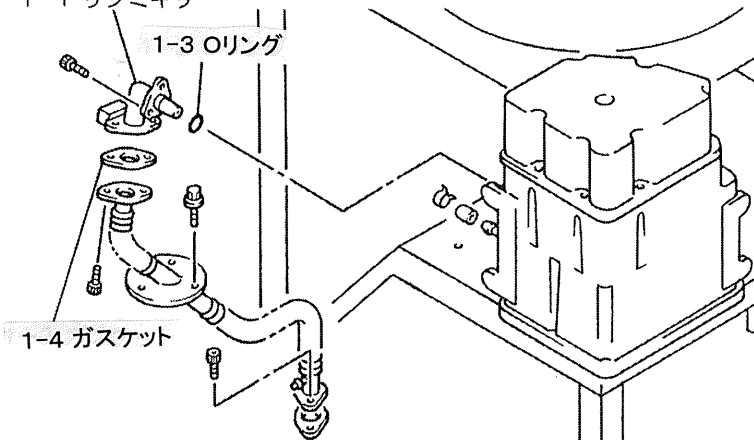
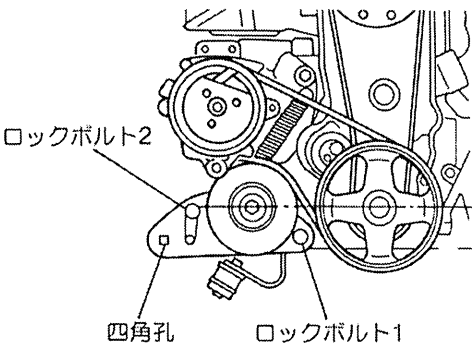
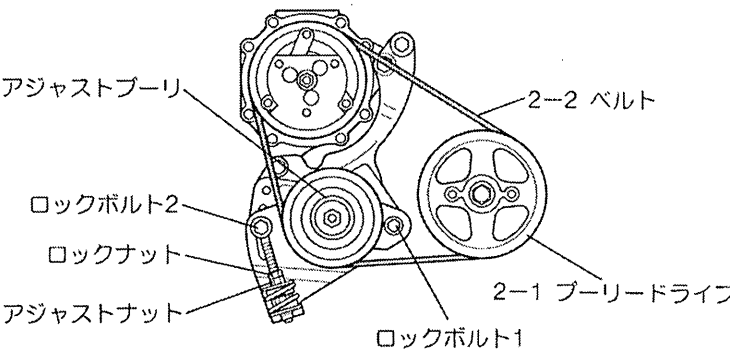
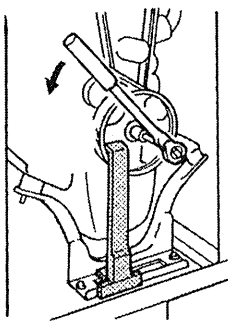
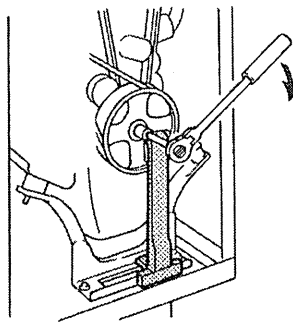
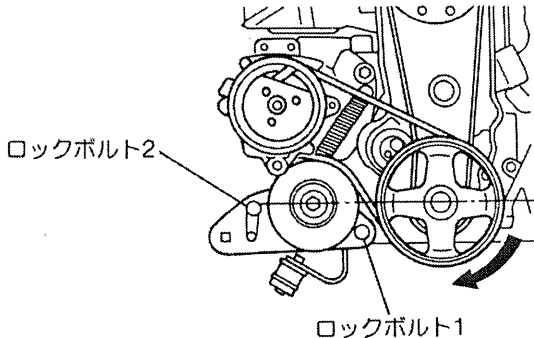
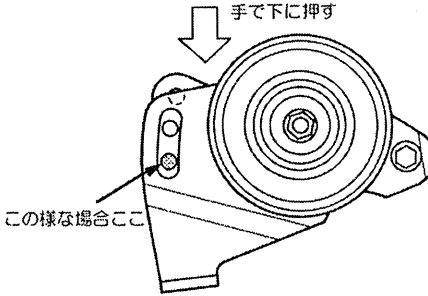


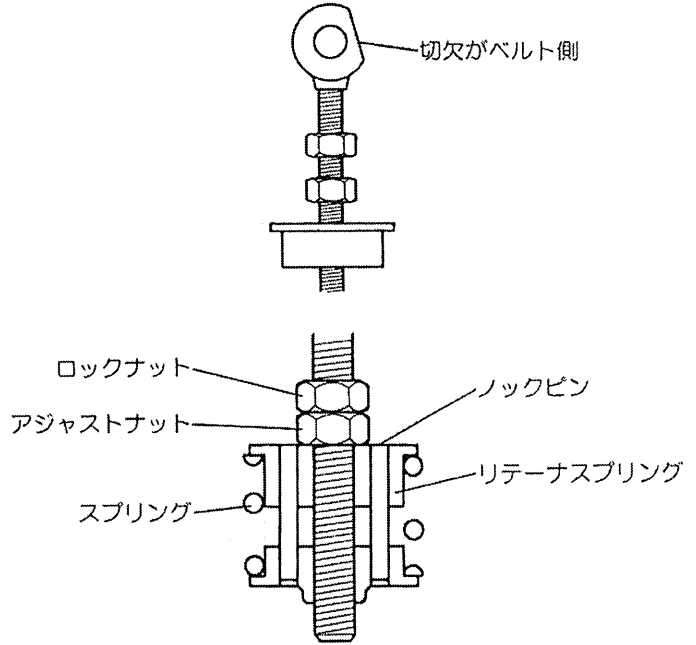
項目	実施ガス種						作業手順	作業箇所及び注意事項
	LPG ↓ 13A 12A	6C ↓ 13A 12A	13A ↓ LPG	6C ↓ LPG	13A ↓ 6C	LPG ↓ 6C		
外	○	○	○	○	○	○	1. ガスコックをOFFにします。 ⚠ 警告 作業を実施するときは必ずガスコックをOFFにしてください。 ! 作業中誤ってガス漏れが発生すると火災や爆発、ガス中毒の原因になることがあります。 2. サイドパネルを外し、ブレーカをOFFにします。 ⚠ 注意 作業を実施するときは必ず電源をOFFにしてください。 ! 作業中誤って電源部に触れたりすると、ケガや感電の原因になることがあります。 3. フロントパネルを外します。 ※6Cへの変換時にはリヤパネルも外します。	 サイドパネル フロントパネル  リヤパネル

項目	実施ガス種						作 業 手 順	作業箇所及び注意事項												
	LPG ↓ 13A 12A	6C ↓ 13A 12A	13A ↓ LPG	6C ↓ LPG	13A ↓ 6C	LPG ↓ 6C														
1	○	○	○	○	○	○	4. サブミキサーを交換します。 ①ホースガス2及び吸気管を外します。 ②サブミキサー取付ボルトを緩めて取り外します。 ③交換用のサブミキサーにOリングを組み付け、合面にボンド(スリーボンド 1207C)を塗布します。 ④エアークリーナ側合面に残ったボンドをスクレパー等ではがします。 ⑤サブミキサーをエアークリーナBOXに取り付けます。 ⑥ホースガス2及び吸気管を組み付けます。 ⚠ 警 告 ガスホースなどの取り付けは確実に行ってください。 ! 取り付けに不備があると運転中ガス漏れを誘発し火災や爆発の原因になることがあります。 <table><tr><th>項目No.</th><th>部 品 名 称</th><th>数 量</th></tr><tr><td>1-1</td><td>サブミキサ</td><td>1</td></tr><tr><td>1-3</td><td>Oリング</td><td>1</td></tr><tr><td>1-4</td><td>ガスケット</td><td>1</td></tr></table>	項目No.	部 品 名 称	数 量	1-1	サブミキサ	1	1-3	Oリング	1	1-4	ガスケット	1	 サブミキサー 1-1 サブミキサー 1-3 Oリング 1-4 ガスケット 
項目No.	部 品 名 称	数 量																		
1-1	サブミキサ	1																		
1-3	Oリング	1																		
1-4	ガスケット	1																		

項目	実施ガス種						作業手順	作業箇所及び注意事項
	LPG ↓ 13A 12A	6C ↓ 13A 12A	13A ↓ LPG	6C ↓ LPG	13A ↓ 6C	LPG ↓ 6C		
2	×	○	×	○	○	○	5. コンプレッサベルトを外します。 ■YGC1601 ①L側及びR側のアジャストプーリのロックボルト1及び2を緩めます。 ②ステーの四角孔9.5mmにラチェットレンチ9.5mm角を差し込み、アジャストプーリを一番下(又は上)まで下げてロックボルト2を締め付けます。 ③コンプレッサベルトを取り外します。 ■YGC1602 ①L側及びR側のアジャストプーリのロックボルト1及び2を緩めます。 ②ロックナットを緩め、アジャストナットをロックボルト2側へ緩めます。 ③ロックボルト1及び2を外し、アジャストプーリをセットで外してコンプレッサベルトを取り外します。	 ロックボルト2 四角孔 ロックボルト1  アジャストプーリ 2-2 ベルト ロックボルト2 ロックナット アジャストナット 2-1 プーリードライブ ロックボルト1

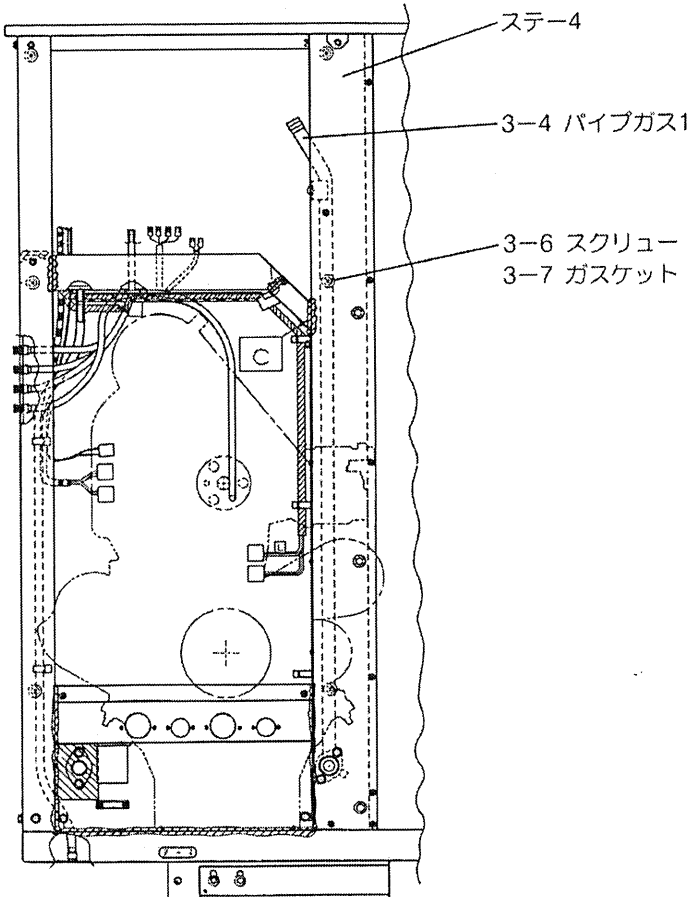
項目	実施ガス種						作 業 手 順	作業箇所及び注意事項													
	LPG ↓ 13A 12A	6C ↓ 13A 12A	13A ↓ LPG	6C ↓ LPG	13A ↓ 6C	LPG ↓ 6C															
2	×	○	×	○	○	○	6. プーリードライブを交換します。 ①プーリードライブをスペシャルツールで固定してプーリー取付ボルトを外し、プーリーを手前に引き抜きます。 ②交換用のプーリードライブを取り付け、スペシャルツールで固定して締め付けます。 ③コンプレッサベルトを取り付けます。 <table><tr><th>項目NO</th><th>部 品 名 称</th><th>数量</th></tr><tr><td>2-1</td><td>プーリードライブ</td><td>1</td></tr><tr><td>2-2</td><td>ベルト</td><td>2</td></tr></table>	項目NO	部 品 名 称	数量	2-1	プーリードライブ	1	2-2	ベルト	2	  <table><tr><th>名 称</th><th>締付トルク</th></tr><tr><td>プーリードライブ締付ボルト</td><td>5.5kg・m</td></tr></table>	名 称	締付トルク	プーリードライブ締付ボルト	5.5kg・m
項目NO	部 品 名 称	数量																			
2-1	プーリードライブ	1																			
2-2	ベルト	2																			
名 称	締付トルク																				
プーリードライブ締付ボルト	5.5kg・m																				

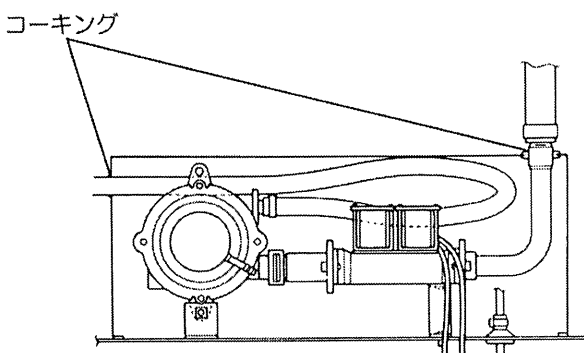
項目	実施ガス種						作業手順	作業箇所及び注意事項									
	LPG ↓ 13A 12A	6C ↓ 13A 12A	13A ↓ LPG	6C ↓ LPG	13A ↓ 6C	LPG ↓ 6C											
2	×	○	×	○	○	○	7. コンプレッサベルトを張ります。 ■YGC1601 ①ロックボルト2を緩め、プーリドライブを矢印方向に回転させベルトをなじませます。 ②ロックボルト2は長穴のネジ山が見える方に取り付けます。 ③ロックボルト1及び2を締め付けます。 ■YGC1602 ①アジャストプーリをロックボルト1で仮付けし、手で押してベルトを張りロックボルト2の取り付け穴を決めます。	 ロックボルト2 ロックボルト1 <table><tr><th>名</th><th>称</th><th>締付トルク</th></tr><tr><td>ロックボルト1</td><td></td><td>2.0kg・m</td></tr><tr><td>ロックボルト2</td><td></td><td>3.0kg・m</td></tr></table>  手で下に押す この様な場合ここ	名	称	締付トルク	ロックボルト1		2.0kg・m	ロックボルト2		3.0kg・m
名	称	締付トルク															
ロックボルト1		2.0kg・m															
ロックボルト2		3.0kg・m															

項目	実施ガス種						作業手順	作業箇所及び注意事項
	LPG ↓ 13A 12A	6C ↓ 13A 12A	13A ↓ LPG	6C ↓ LPG	13A ↓ 6C	LPG ↓ 6C		
2	×	○	×	○	○	○	②アジャスターを取り付け、ロックボルト2を仮締めします。 ③アジャストナットをリテーナスプリングとノックピンが面一になるまで締め込みます。 ④ロックナット及びロックボルト1・2を締め付け、固定します。	 切欠がベルト側 ロックナット アジャストナット スプリング ノックピン リテーナスプリング

項目	実施ガス種						作業手順	作業箇所及び注意事項																					
	LPG ↓ 13A 12A	6C ↓ 13A 12A	13A ↓ LPG	6C ↓ LPG	13A ↓ 6C	LPG ↓ 6C																							
3	×	×	×	×	○	○	8. バルブガス・ガス配管を交換します。 ⚠ 警 告 ガスホースなどの取り付けは確実に行ってください。 ❗ 取り付けに不備があると運転中ガス漏れを誘発し火災や爆発の原因になることがあります。 ①ホースガス1をクランプを緩め、外します。 ②ホースガス2のサブミキサー側クランプを緩め、サブミキサーより外します。 ③バルブガスカバーを取り付け、スクリュー及びナットを緩めて外します。 ④フィッティングゼロガバナとゼロガバナジョイント部のクリップを外し、ブラケットAのスクリューを緩めてバルブガス・パイプガス2・フィッティングゼロガバナをセットで取り外します。 ⑤ブラケットAを6C用に交換します。 ⑥6C用のバルブガスにパイプガス2及びフィッティングゼロガバナを取り付けます。 <table><tr><th>項目NO</th><th>部 品 名 称</th><th>数量</th></tr><tr><td>3-1</td><td>バルブガス</td><td>1</td></tr><tr><td>3-2</td><td>Oリング</td><td>2</td></tr><tr><td>3-3</td><td>ボルトヘキサゴン</td><td>4</td></tr><tr><td>3-5</td><td>フィッティングゼロガバナ</td><td>1</td></tr><tr><td>3-8</td><td>パイプガス 2</td><td>1</td></tr><tr><td>3-9</td><td>ブラケット A</td><td>1</td></tr></table>	項目NO	部 品 名 称	数量	3-1	バルブガス	1	3-2	Oリング	2	3-3	ボルトヘキサゴン	4	3-5	フィッティングゼロガバナ	1	3-8	パイプガス 2	1	3-9	ブラケット A	1	
項目NO	部 品 名 称	数量																											
3-1	バルブガス	1																											
3-2	Oリング	2																											
3-3	ボルトヘキサゴン	4																											
3-5	フィッティングゼロガバナ	1																											
3-8	パイプガス 2	1																											
3-9	ブラケット A	1																											

07.5FF (TGC1601MP-1602MP)

項目	実施ガス種						作業手順	作業箇所及び注意事項																		
	LPG ↓ 13A 12A	6C ↓ 13A 12A	13A ↓ LPG	6C ↓ LPG	13A ↓ 6C	LPG ↓ 6C																				
3	×	×	×	×	○	○	⑦ゼロガバナジョイント部のOリングを交換し、セット組みしたバルブガスを取り付けます。 <table><tr><th>項目NO</th><th>部 品 名 称</th><th>数量</th></tr><tr><td>4-2</td><td>Oリング</td><td>1</td></tr></table> ⑧クリップ及びブラケットAのスクリューで固定します。 ⑨バルブガスカバーを取り付けます。 ⑩ホースガス2のサブミキサー側を取り付け、クランプで固定します。 ⑪ステア4の取付スクリューを緩め、ステア4を外します。 スクリュー 5mm×10 フランジボルト 6mm×1 ヘキサゴンボルト 6mm×2 ⑫パイプガス1のフランジボルトとスクリューを緩め、パイプガス1を外します。 ⑬6C用のパイプガス1にスクリューとガスケットを組み付けステア4に取り付けます。 <table><tr><th>項目NO</th><th>部 品 名 称</th><th>数量</th></tr><tr><td>3-4</td><td>パイプガス 1</td><td>1</td></tr><tr><td>3-6</td><td>スクリュー</td><td>1</td></tr><tr><td>3-7</td><td>ガスケット</td><td>1</td></tr></table> ⑭ステア4を取り付けます。 ⑮ホースガス1を取り付け、クランプで固定します。 ⚠ 警 告 ガスホースなどの取り付けは確実に行ってください。 ! 取り付けに不備があると運転中ガス漏れを誘発し火災や爆発の原因になることがあります。	項目NO	部 品 名 称	数量	4-2	Oリング	1	項目NO	部 品 名 称	数量	3-4	パイプガス 1	1	3-6	スクリュー	1	3-7	ガスケット	1	
項目NO	部 品 名 称	数量																								
4-2	Oリング	1																								
項目NO	部 品 名 称	数量																								
3-4	パイプガス 1	1																								
3-6	スクリュー	1																								
3-7	ガスケット	1																								

項目	実施ガス種						作業手順	作業箇所及び注意事項
	LPG ↓ 13A 12A	6C ↓ 13A 12A	13A ↓ LPG	6C ↓ LPG	13A ↓ 6C	LPG ↓ 6C		
3	×	×	×	×	○	○	⑩バルブガスカバーより出ているパイプガス2及びホースガス2の出口部分をコーキングします。 ⚠ 警告 ガスホースなどの取り付けは確実に行ってください。 ! 取り付けに不備があると運転中ガス漏れを誘発し火災や爆発の原因になることがあります。 コーキング剤 スリーボンド 1212D 信越化学 KE45	コーキング 
4	○	×	○	○	×	○	9. ゼロガバナAssyを交換します。 ⚠ 警告 ガスホースなどの取り付けは確実に行ってください。 ! 取り付けに不備があると運転中ガス漏れを誘発し火災や爆発の原因になることがあります。 ①LPG→6Cのガス種変換時は、項目3の作業時にゼロガバナAssyを交換します。 ②他のガス種では、ホースガス1・ホースガス2のクランプを緩めホースガスを外します。 ③バルブガスカバーを外します。	

項目	実施ガス種						作 業 手 順	作業箇所及び注意事項												
	LPG ↓ 13A 12A	6C ↓ 13A 12A	13A ↓ LPG	6C ↓ LPG	13A ↓ 6C	LPG ↓ 6C														
4	○	×	○	○	×	○	④ホースガス2のゼロガバナ側クランプを緩め、ホースガス2を外します。 ⑤フィッティングゼロガバナとゼロガバナジョイント部のクリップを外します。 ⑥ゼロガバナAssy取付ボルト及び均圧ホースを外し、ゼロガバナAssyを取り外します。 ⑦ゼロガバナAssyからパイプガス4を外します。 ⑧交換用のゼロガバナAssyのOリングを交換し、パイプガス4を取り付けます。 ⑨均圧ホースを取り付け、ゼロガバナAssyをボルトで固定します。 <table><tr><th>項目NO</th><th>部 品 名 称</th><th>数量</th></tr><tr><td>4-1</td><td>ゼロガバナAssy</td><td>1</td></tr><tr><td>4-2</td><td>Oリング</td><td>1</td></tr><tr><td>4-3</td><td>Oリング</td><td>1</td></tr></table> ⑩ホースガス2を取り付け、クランプで固定します。 ⚠ 警 告 ガスホースなどの取り付けは確実に行ってください。 ❗ 取り付けに不備があると運転中ガス漏れを誘発し火災や爆発の原因になることがあります。 ⑪バルブガスカバーを取り付けます。 ⑫ホースガス1・ホースガス2を取り付け、クランプで固定します。 ⑬バルブガスカバーより出ているパイプガス2及びホースガス2の出口部分をコーキングします。 コーキング剤 スリーボンド1212D等	項目NO	部 品 名 称	数量	4-1	ゼロガバナAssy	1	4-2	Oリング	1	4-3	Oリング	1	
項目NO	部 品 名 称	数量																		
4-1	ゼロガバナAssy	1																		
4-2	Oリング	1																		
4-3	Oリング	1																		